

## 略 歴

氏名：宮本 万理子（みやもと まりこ）

生年月日：1980年10月20日（43歳）

学位：環境学博士（東京大学）

研究者番号：60633790

### 学歴

2012年3月 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 博士課程 修了

2007年3月 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 修士課程 修了

2005年3月 慶應義塾大学 環境情報学部 卒業

1999年8月 Martin Luther High School (U.S.A) 卒業

### 職歴

2024年6月～現在 SOMPO インスティテュート・プラス株式会社  
企画・公共政策グループ 主任研究員

2022年5月～2024年5月 SOMPO インスティテュート・プラス株式会社  
企画・公共政策グループ 副主任研究員

2018年4月～2022年4月 建設系コンサルタント2社

2014年4月～2017年10月 神戸芸術工科大学 デザイン学部 環境デザイン学科 助教

2012年4月～2014年3月 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任研究員

### 非常勤講師など

- ・中央大学研究開発機構 客員研究員
- ・埼玉大学 教育学部 見沼フィールドスタディーズA
- ・大阪商業大学 公共学部 都市計画
- ・東洋大学 国際観光学部 国際観光学研究II

### 所属学会

日本都市計画学会／日本建築学会／日本造園学会

Researchmap: <https://researchmap.jp/read0142659>

受賞歴 ※○は発表者、\_\_は第1著者、\_\_は第2著者以降

1. ○ Miyamoto M., 「NASA-MSU Professional Enhancement Awards」、『The Transformation of Pastoral Landscape of the Kanto Plain, Japan』、(April 2008)
2. ○ 宮本万理子、「日本造園学会全国大会ベストペーパー賞」、『牧の払い下げ形式にもとづく下総台地における景観の特徴解明』、2011年11月
3. ○ 宮本万理子、「日本造園学会奨励賞（研究論文部門）」、『下総台地における牧景観の特徴とその変容過程に関する計画論的研究』、2013年5月
4. ○原田恵、清水亮、鬼頭秀一、宮本万理子、「日本農村計画学会ポスター賞」、『都市郊外における共同利益としての「農」を媒介とした地域コミュニティ形成の可能性—柏たなか地区における農あるまちづくり活動を事例として—』、2014年5月
5. 株式会社建設環境研究所、「社内優良業務表彰」、『国土技術政策総合研究所 道路緑化の定量的な機能評価に関する調査業務』、2021年3月
6. 国土技術政策総合研究所、「局長賞表彰」、『国土技術政策総合研究所 無電柱化事業の施工のスピードアップ等に関する調査整理業務』、2021年3月
7. 株式会社建設環境研究所、「社内優良業務表彰」、『国土交通省近畿地方整備局大和川事務所 亀の瀬地すべり地域連携業務』、2021年3月
8. 株式会社建設環境研究所、「社内優良業務表彰」、『国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所 大和川環境特性調査業務』、2021年3月
9. 宮本万理子、尾形和哉、「SOMPO インスティテュート・プラス「Insight Plus 大賞」」、『ワーケーションがもたらす効果と地方創生への展開、従業員のイノベーション、メンタルヘルス、生産性、エンゲージメントの向上に対する効果と地方自治体への経済波及効果』
10. 宮本万理子、「東洋経済新報社、月刊東洋経済「シンクタンク厳選レポート」」、『予防対策重視の法改正への対応を、新技術で空き家化を防げ』（2024年4月22日付）

委員歴

1. 東アジアランドスケープ研究会、プロジェクト調整担当幹事、2010年—
2. 日本造園学会、企画委員会委員、2013年—2014年
3. 日本造園学会、関東支部運営委員会委員、2022年—

## 研究業績目録

### 1. 原著論文

#### (1) 査読付き論文

1. Pollock-Ellwand N, Miyamoto M, Kano Y, and Yokohari M, 「Commerce and conservation: an Asian approach to an enduring landscape, Ohmi-hachiman, Japan」、『International Journal of Heritage Studies』、Taylor & Francis、Volume 15、Issue 1、pp3-23、2009
2. ○宮本万理子、横張真、「下総台地における牧の払い下げと近代化以降の土地利用の変遷」、『ランドスケープ研究』、73号、5刷、pp631-636、2010（日本造園学会奨励賞（研究論文部門）受賞対象論文）
3. Kogi J, Miyamoto M, Bothouse J, and Yokohari M, 「The potential for abandoned paddy fields to reduce pollution loads from households in suburban Tokyo」、『Journal of Water』、MDPI、Volume 2、Issue 3、pp649-667、2010
4. ○宮本万理子、横張真、保科宇秀、「牧の払い下げ形式にもとづく下総台地における景観の特徴解明」、『ランドスケープ研究』、74号、5刷、pp673-678、2011（日本造園学会全国大会ベストペーパー賞受賞対象論文）（日本造園学会奨励賞（研究論文部門）受賞対象論文）
5. ○宮本万理子、横張真、渡辺貴史、「土地履歴の解釈にもとづく文化財としての文化的景観の捉え方の検討」、『ランドスケープ研究』、75号、5刷、pp597-678、2012（日本造園学会奨励賞（研究論文部門）受賞対象論文）
6. ○Kang U, Miyamoto M, Sawyer K, and Yokohari M, 「A historical study of farmland owned and used by urban residents remaining in peri-urban areas of Seoul, Korea」、『The 13<sup>th</sup> International Symposium of Landscape Architecture: The Role of Landscape Architecture for Ecotourism and Green Infrastructure Policy』、pp219-223、2012
7. Shimpo N, Stiles R, Yokohari M, and Miyamoto M, 「The effects of new “Wiener Kleingartengesetz” on the housing renovation of Kleingärten in Vienna, Austria」、『Journal of Urban and Regional Planning Review 11』、2014、99-114
8. ○渡部陽介、宮本万理子、雨宮護、寺田徹、横張真、「カシニワ制度に基づくコミュニティガーデンにおける公共性の変化」、『ランドスケープ研究』、77号、5刷、2014、713-718
9. 川北健雄、見寺貞子、野口正孝、ばんばまさえ、長濱伸貴、宮本万理子、向井昌幸、相澤孝司、逸見健二郎、太田尚作、古賀俊策、相楽二郎、佐野浩三、田頭章徳、見明暢、



- 福崎千晃、「六甲山系の自然と地域特性を活かした高大連携に関する研究／総合学習時間を利用したデザインカリキュラム」、『神戸芸術工科大学紀要・芸術工学』、2015、11-25
10. 宮本万理子、長濱伸貴、川北健雄、「欧州におけるエコロジカルランドスケープデザインに関する研究発表と調査分析」、『神戸芸術工科大学紀要・芸術工学』、2015、11-25
  11. 長濱伸貴、小玉祐一郎、宮本万理子、「熱環境の改善を目指した神戸市の建築・緑地配置に関する計画・デザイン論的研究」、『都市政策』、2016、81-87
  12. 長濱伸貴、小玉祐一郎、宮本万理子、大道一輝、梅干野晃、「環境シミュレーションによる環境配慮型都市および緑地モデルの構築に関する研究」、『神戸芸術工科大学紀要・芸術工学』、2016、11-36
  13. 川北武雄、長濱伸貴、宮本万理子、中村卓、「坂出市の地域資源と地域課題に関する調査分析に関する研究」、『神戸芸術工科大学紀要・芸術工学』、2016、11-25
  14. 小浦久子、宮本万理子、長野真紀、「オープンスペース類型からの都市空間再編の計画デザイン論」、『神戸芸術工科大学紀要・芸術工学』、2017、11-25

## (2) 査読なし論文

1. ○宮本万理子、渡部陽介、張安、鄧舸、金周妍、高傑、張雲路、村松保枝、「日中韓におけるランドスケープに関わる若手研究者の研究動向と連携の可能性」、『日本造園学会全国大会分科会講演集』、pp15-20、2011
2. 宮本万理子、橋本禪、「東日本大震災 被災および復興状況ー若手ネットによる現地調査第2 団報告ー」、『農村計画学会誌』、30号、2刷、pp127-128、2011
3. (招待論文) ○宮本万理子、「小金牧の景観変容とその解釈」、『鎌ヶ谷市史研究』、26号、pp61-85、2012
4. (招待論文) 宮本万理子、渡部陽介、雨宮護、横張真、「英国におけるコミュニティガーデン運営を支援する中間組織の役割」、『都市住宅学会』、82号、40-43、2013
5. 神戸芸術工科大学、環境デザイン学科「都市における風環境シミュレーションー風環境の改善；神戸市の都市づくり計画ー」、『Foundation of Computation Science26-28』、2016
6. 宮本万理子、「流域治水とグリーンインフラ導入の意義ー地域振興の新しい可能性ー」、『Sompo Insight Plus』、2022
7. 宮本万理子、「リモートワークが提供する生産的で豊かなワークライフの可能性、EU 諸国における生活・労働実態調査から」、『Sompo Insight Plus』、2022
8. 宮本万理子、「官民連携によるグリーンインフラの推進」、『Sompo Insight Plus』、2023
9. 宮本万理子、尾形和哉、「ワーケーションがもたらす効果と地方創生への展開、従業員のモチベーション、メンタルヘルス、生産性、エンゲージメントの向上に対する効果と地方自治体への経済波及効果」、『Sompo Insight Plus』、2023

10. 宮本万理子、○尾形和哉、「ワーケーションが従業員の心理的側面に与える影響に関する実証的研究、イノベーション、メンタルヘルス、生産性、エンゲージメントを指標として」、『都市計画報告集』、22号、1刷、182-187、2023
11. ○尾形和哉、宮本万理子、「ワーケーションの経済波及効果に関する実証的研究」、『都市計画報告集』、22号、2刷、198-202、2023
12. 宮本万理子、岡田豊、「地方都市における都市の縮退とコンパクトシティ、アフターコロナを見据えて」、2023、『都市計画報告集』、22号、1刷、34-40
13. 宮本万理子、岡田豊、「世帯の動向から見た空き家対策—「単独世帯」に着目して—」、『Sompo Insight Plus』、2023
14. 宮本万理子、岡田豊、「「単独世帯」の動向から見た空き家対策」、『都市計画報告集』、22号、2刷、217-222、2023
15. 宮本万理子、「地域再生と空き家、空き地対策、英国の社会的企業による取り組み」、『Sompo Insight Plus』、2023
16. Miyamoto, M., Okada, Y., Ikebe, K., 「Impact of Increasing Number of Smaller Households on Emergence of Vacant Houses -Beyond the Compact City-」、Reports of the City Planning Institute of Japan, No.23, 11-18, 2024
17. 宮本万理子、岡田豊、池邊このみ、「世帯の小規模化から見た空き家動向」、『Sompo Institute Plus Report』、2024、25-42
18. 宮本万理子、「空き家対策は早期の実態調査から、事後対応策から予防対策への転換」、『Sompo Insight Plus』、2024
19. 宮本万理子、「老朽マンションは再生できるか、改正区分所有に向けて」、『Sompo Insight Plus』、2024
20. 宮本万理子、「多死社会における所有者不明土地のゆくえ～利用促進から発生予防対策への転換～」、『Sompo Insight Plus』、2024
21. 宮本万理子、「コンビニ越しに見える富士山問題」について考える、夏山登山の新予約システム開始（7月1日～9月10日まで）、『Sompo Topics Plus』、2024
22. 宮本万理子、「森林環境税の導入（6月1日～）から「受益者は誰か？」を考える」、『Sompo Topics Plus』、2024
23. 宮本万理子、「世界人口推計から日本の多死社会と土地、住宅問題を捉える」、『Sompo Topics Plus』、2024
24. 宮本万理子、「不動産ビッグデータは新ビジネスの起爆剤になるか？～登記所備付地図の無料配信サービスによるDXの推進～」、『Sompo Topics Plus』、2024
25. ○宮本万理子、山本浩二、「不動産ビッグデータを活用した空き家の特定業務」、『都市計画コンサルタンツ協会、実務家発表会』（投稿中）

## 2. 国際会議における発表

### (1) 国際会議（口頭発表）（査読あり）

1. ○Miyamoto M., and Yokohari M, 「The origin of mixed urban-rural land and the peri-urbanization of Tokyo, Japan」、『International Planning History Society』、pp329、Istanbul、Turkey、(July 2010)

### (2) 国際会議（ポスター発表）（査読あり）

1. ○Miyamoto M. and Yokohari M, 「The spatial relationship between urban green patches and topography in a suburban area of Tokyo, Japan」、『US-IALE 23rd Annual Landscape Ecology Symposium』、Wisconsin、USA、(April 2008)
2. ○Miyamoto M. and Yokohari M, 「Transformation of woodbanks (Nomadote) landscape in Shimousa plateau -case study on Kogane maki and Sakura maki-」、『ICLEE, The 4th International Conference on Landscape and Ecological Engineering』、Taipei、Taiwan、(November 2008)
3. ○Watanabe Y, Miyamoto M., Terada T, Amemiya M, Yokohari M, and Asami Y, 「"Choi-Nou" as a New Management Scheme to Maintain Community Garden in an Aging and Depopulating Japanese Society」、『1st International Conference on Urban Sustainability and Resilience』、London、UK、(November 2012)
4. Miyamoto M., Watanabe Y, Mitsuhashi T, Amemiya M, Terada T, Yokohari M, and Asami Y, 「New Management Scheme for Urban Agriculture? New Movement to Maintain Urban Agriculture by Private Sectors」、『1st International Conference on Urban Sustainability and Resilience』、London、UK、(November 2012)

### (3) 国際会議（ポスター発表）（査読なし）

1. ○Miyamoto M. and Yokohari M, 「Transformation of pasture landscape on the Shimousa plateau」、『International Workshop on Sustainable City Region』、Denpasar、Indonesia、(February 2009)
2. ○Miyamoto M. and Yokohari M, 「Re-evaluation of green space planning in peri-urban of Tokyo, -Transformation processes of Shimousa plateau」、『International Workshop on Sustainable City Region』、Tainan、Taiwan、(February 2010)

3. ○Yokohari, M., and Miyamoto, M. 「Continuing Cultural Landscapes in Urban Fringe Areas: A Case Study of Pastural Landscapes in the Urban Fringe of Tokyo, Japan」、The Resilience of Vernacular Heritage in Asian Cities、(2014)
4. ○Miyamoto, M. 「Commerce and Conservation: Asian Approach to an Enduring Landscape, Ohmi-Hachiman, Japan」、「European Masters in Landscape Architecture」、2014

### 3. 国内会議における発表

#### (1) 国内学会・シンポジウム等（口頭発表）（査読なし）

1. ○宮本万理子、大澤雅彦、「東京湾小櫃川河口塩生植生と立地環境に与える河道変更の影響」、『第27回関東地区生態学関係修士論文発表会』、東京、2007年3月
2. ○宮本万理子、「ArcGIS 歴史的農業環境閲覧システムを利用した「牧」の歴史的変遷」、『第56回日本生態学会全国大会』、岩手、2009年3月
3. ○宮本万理子、「アジア環境リーダー育成プログラム「International Workshop on Tokyo Agriculture」に関する報告」、『東アジアランドスケープ研究会若手部会第4回定例会』、千葉、2010年10月
4. ○宮本万理子、渡部陽介、張安、鄧舸、金周妍、高傑、張雲路、村松保枝、「日中韓におけるランドスケープに関わる若手研究者の研究動向と連携の可能性」、『平成23年度日本造園学会全国大会』、東京、2011年11月
5. （招待講演）○宮本万理子、「小金牧の履歴に基づく文化的景観の捉え方」、『鎌ヶ谷市郷土資料館セミナー』、千葉、2011年12月
6. （招待講演）○宮本万理子、「国内外における低未利用地を活用した農的活動に関する事例紹介」『環第2回定例会、続・コミュニティをつくる・はぐくむ～豊かに暮らせる地域社会を、あらゆる手と場で～』、神奈川、2013.9.30

#### (2) 国内学会・シンポジウム等（ポスター発表）（査読なし）

1. ○宮本万理子、石川幹子、「歴史的都市における緑地環境の持続的維持に関する研究－鎌倉市滑川流域圏を対象として－」、『慶應義塾大学卒業制作展』、神奈川、2005年2月
2. ○渡部陽介、鄧舸、張安、宮本万理子、「東アジアのランドスケープの質向上を目的に活動する研究者ネットワーク」、『第12回日中韓ランドスケープ専門家会議』、神奈川、2010年10月
3. ○姜宜仙、宮本万理子、横張真、「韓国ソウル市における都市住民による農的活動の



- 変遷」、『平成 24 年度都市計画学会ポスターセッション』、東京、2012 年 5 月
4. ○原田恵、清水亮、鬼頭秀一、宮本万理子、「都市郊外における共同利益としての「農」を媒介とした地域コミュニティ形成の可能性―柏たなか地区における農あるまちづくり活動を事例として―」、『農村計画学会ポスターセッション』、2014
  5. 高野遼平、○宮本万理子、長濱伸貴、「環境シミュレーションを用いた土地利用再編に関する研究」、『建築学会講演梗概集』、2016
  6. 池村友希、○宮本万理子、「戦後の市庁舎における市民空間の変遷に関する研究」、『建築学会講演梗概集』、2016
  7. ○宮本万理子、橋元一成「集合住宅における住民による生活領域の拡張性とその要因に関する研究、岡山県倉敷市中庄団地第 1 期～第 4 期を事例として」、『建築学会講演梗概集』、2016
  8. ○宮本万理子、松本達郎「兵庫運河における水辺空間の親水性に関する研究」、『建築学会講演梗概集』、2017

#### 4. 講演

1. 宮本万理子、「株式会社新社会システム総合研究所、エネルギー・環境戦略総合セミナー東京（港区）」、『企業はグリーンインフラをどのように推進すべきか』、2023
2. 宮本万理子、「全国町村会（都道府県会）向け講演資料」、『地方創生と空き家問題』、2023

#### 5. メディア

1. 紀伊民放「串本と那智でワーケーション、和歌山県が新プラン作り」、2023 年 1 月
2. 日刊工業新聞社「第 74 回新時代のリスク対応「都市の遊休地対策、法改正、支援組織が活性化」」、2023 年 5 月 18 日
3. 信濃毎日新聞・多思彩々「世帯小規模化、増える空き家」、2023 年 12 月 10 日
4. 日本経済新聞社「「管理不全」空き家、ご近所トラブル注意、税軽減の除外も」、2024 年 4 月 25 日
5. 信濃毎日新聞社・空き家 20 万戸時代「先進地でノウハウ学ぶ「空き家留学生」始めます、長野県、民間から選抜・派遣、行政頼みに「限界」の背景も」、2024 年 4 月 30 日
6. 信濃毎日新聞社・多思彩々「「管理不全空き家」特定が鍵」、2024 年 6 月 2 日
7. Sompo Institute Plus 公式 Youtube 動画「多死社会におけるこれからの住宅市場」、2024 年 7 月 19 日

## 6. 報告書等

1. 柏市、東京大学、株式会社三菱総合研究所、「気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革、明るい低炭素社会の実現に向けた都市変革プログラム、報告書」、2014
2. 宮本万理子、尾形和哉、「ワーケーション実証実験報告書」、『イノベーション、メンタルヘルス、生産性、エンゲージメントに対する効果と地方自治体への経済波及効果』、SOMPO インスティテュート・プラス特別企画

## 7. 研究助成実績

1. 東京大学大学院新領域創成科学研究科、「学術研究活動奨励金事業（国外）」、2008年
2. 東京大学大学院新領域創成科学研究科、「環境学研究系リサーチ・アシスタント」、2007年－2009年
3. 東京大学大学院新領域創成科学研究科、「博士課程研究遂行協力制度」、2008年－2010年
4. 花博記念協会助成、「東アジアのランドスケープ・緑化研究動向の実態把握（研究分担者）」、2010年
5. 神戸市公園緑化協会、神戸市の緑の普及・啓発に寄与する調査・研究支援、「六甲山にみる植林計画に関する研究－本多静六による砂防計画を事例として－（研究分担者）」、2014
6. 神戸芸術工科大学研究助成、「環境デザインの国際ワークショップ開催に向けた坂出市に関する基礎調査（研究分担者）」、2015
7. 神戸芸術工科大学研究助成、「六甲山系の自然と地域特性を活かした高大連携に関する研究／総合学習時間を利用したデザインカリキュラム（研究分担者）」、2015
8. 科学研究費助成事業、「持続的な都市の形成に向けた新たな農の概念とその計画（研究分担者）」、2013－2015
9. 科学研究費助成事業、「環境デザインを基軸とした新たな都市再生に関する計画・デザイン論的研究（研究代表者）」、2015－2017
10. 神戸芸術工科大学研究助成、「欧州におけるエコロジカルランドスケープデザインに関する研究発表と調査分析（研究代表者）」、2014
11. 神戸市、市の政策課題解決に向けた大学発政策研究・提案助成事業、「熱環境の改善を目指した神戸市の建築・緑地配置に関する計画・デザイン論的研究（研究分担者）」、2014
12. 神戸芸術工科大学研究助成、「坂出市の地域資源と地域課題に関する調査分析に関する研究（研究分担者）」、2016
13. 日本私立学校振興・共済事業団、学術研究振興資金（若手研究者奨励金）、「超高齢化社

会におけるコモンスペースの利活用に関する研究、地域ケアシステム構築可能性の検討（研究代表者）」、2015

## 8. 受託実績（技術者 ID：0330607506） ※主要業務の一部を掲載

### 2024 年度

- 業務名：世界自然遺産小笠原の観光ガイドによる経済的便益確保と環境保全に関わる委託研究  
発注者：東洋大学、国際観光学部、国際観光学科、武正憲教授  
担当：研究アドバイザー  
役割：本委託研究は、科研費「世界自然遺産登録地小笠原の観光ガイド制度の実態把握に基づく資源管理モデルの提案（研究代表者：武正憲教授）」の一環として行われるものである。世界自然遺産登録地である小笠原諸島には、東京都認定ガイド制度により、観光ガイドが経済的便益確保と環境保全を両立する仕組みがある。今年度は、当該地域の観光振興によってもたらされる経済波及効果を計測するためのプレ調査として実施する。

### 2021 年度

- 業務名：道路緑化の定量的な機能評価に関する調査業務（優良業務受賞対象業務）  
発注者：国土技術政策総合研究所  
担当：担当技術者（主担当）  
道路緑化の機能を定量的に評価する方法について、国内外を対象として既存の都市緑化などにおける評価方法について収集整理を行うとともに、評価の際に必要な道路緑化の管理データの現状を調査した。
- 業務名：無電柱化事業の施工のスピードアップ等に関する調査整理業務（局長賞受賞対象業務）  
発注者：国土技術政策総合研究所  
担当：担当技術者  
役割：事業のスピードアップに向けた無電柱化事業の施工分担のあり方等の検討のため、国内の無電柱化事業における施工分担等の実態調査及び海外における無電中化に関する調査を行うとともに、有識者会議の運営補助を行った。

- 業務名：亀の瀬地区地域活性化支援他検討業務（所長賞受賞対象業務、優良業務受賞対象業務）  
発注者：国土交通省近畿地方整備局  
担当：担当技術者  
役割：亀の瀬地すべり事業区域の維持管理の効率化を図ることを目的として、施設と上面の有効活用ならびに地域と連携した活性化支援方策の検討を行った。
- 業務名：成瀬ダム地域活性化検討業務  
発注者：国土交通省東北地方整備局  
担当：担当技術者  
役割：成瀬ダムと周辺地域の特色を活かした水源地域活性化及び、ダム事業が地域に及ぼす経済波及効果について検討を行った。
- 業務名：大和川環境特性調査業務（優良業務受賞対象業務）  
発注者：国土交通省近畿地方整備局  
担当：担当技術者  
役割：大和川河川事務所における大和川自然再生計画に基づく自然再生事業の整備箇所のモニタリング調査及び検討、水辺整備事業としてかわまちづくり計画の検討等を行った。
- 業務名：R3 首里城公園管理体制構築計画策定等業務  
発注者：沖縄県  
担当：担当技術者  
役割：令和 2 年度の首里城火災に係る再発防止検討委員会の提言等を踏まえ、沖縄県が令和 3 年 4 月に策定した「首里城火災の再発防止策（基本的な方向性）」の具体的な取組を総合的・体系的に示した首里城公園管理体制構築計画の策定及び首里城公園の管理体制構築に関する具体的な検討を行った。
- 業務名：R3 利根運河周辺地域連携検討業務  
発注者：国土交通省関東地方整備局  
担当：担当技術者  
役割：「利根運河エコパーク実施計画」の施策推進のために必要な調査及び利根運河の関心を高めるための方策の検討を行うとともに、コウノトリの舞う地域作り連絡協議会の取り組みを推進するため、その具体的な施策の検討を実施した。